



## 次が引き継いでいきます

3月19日に卒業式を終え、6年生は、小学校生活を振り返り名残惜しそうに、しかし、堂々と未来に向かって巣立っていきました。今年度は、5年生が在校生代表として式に参列することができましたが、しっかりと6年生からバトンを引き継いだと感じさせる態度でした。そして、巣立つ6年生の姿を心に焼き付け、1年後は自分たちがあそこに立つと思いを巡らせたのではないのでしょうか。

1年生から4年生もさまざまな形で卒業生に思いを伝えることができ、気持ちの上で大きく成長しました。進級は間近です。

### 【在校生に見送られる卒業生】

なお、卒業式前にPTAからは3本の桜の木を贈っていただきました。ありがとうございました。1本は、6年生の卒業を祝い、1本は、高浜小学校等整備事業完了を祝い、そして、もう1本は、新型コロナウイルス感染の終息を願い、植えられました。数年後には大きく成長し、春には満開の花を咲かせます。かつて咲き誇った高浜小の桜の後を継いでいくことでしょう。

さて、長きに渡り、校長室だよりをご覧いただきありがとうございました。「はげみゆく高小っ子」をお伝えしようとしてきましたが、私の知らないところでたくさんの高小っ子が励んでいました。今後も、小さな努力を積み重ねていく高小っ子であってほしいと願います。今回をもちまして終了しますが、新年度4月には、刷新された校長だよりが皆様のもとに届けられます。どうぞ、ご期待ください。



【記念樹の三本桜】

## 高浜小学校等整備事業は3月31日をもって完了



### 【完成間近の駐車場】

平成29年12月から始まった工事が、駐車場の完成をもってようやく終わりを迎えます。この間、保護者の皆様方には何かとご不便やご心配をおかけしました。一つ一つの施設の利便性が高く、さらに、地域との交流の可能性が広がる施設が本格的に機能します。なお、工事は、困難が多かったにもかかわらず、計画通りに、しかも、事故なく進みました。工事に携わったすべての方々に感謝いたします。

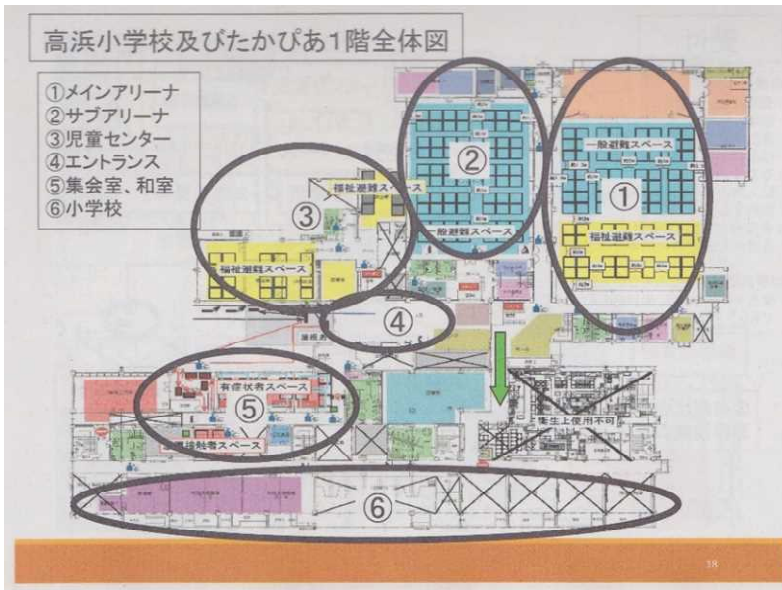
高浜小学校は、この何年間かを、高浜小学校等整備事業の歩みとともに過ごしてきました。慣れ親しんだ、遊具、緑の木々、プール、校舎、体育館といずれも感謝の思いでお別れをしてきました。塀で仕切られた運動場や雨の日の体育館で

の体育の授業は、子ども達にとって不自由でしたが、約束を守り、安全にやっていました。新校舎での生活が始まって2年。「廊下は歩くよ」「ここは見にくいから飛び出すとぶつかるよ」「トイレのスリッパはこうやってそろえてね」上級生は、小さい子たちに優しく声かけをしていました。子ども達の行動や気遣いが、今の高浜小学校の生活をつくっています。

高浜小学校にとって、この期間は、大きな転換期でしたが、子ども達は、高小生らしさを見失うことなく、成長することができ、本当にうれしく思いました。

## 高浜市防災・防犯グループ主催「みんなで考える避難所づくり」

昨年度から避難所づくりを地域住民（小学校区単位）で考える機会が設けられました。今年度2年目は高浜地区の番です。先日も宮城県沖で大きな地震が発生し、近いうちに、南海トラフ地震が起こるのではと不安がよぎります。毎年、各地で被災するたびに、避難所づくりのノウハウが集積し、根本的に見直し



がされつつあります。今回のように、地域の人たちが顔を合わせて、被災した後のことを考えておくことは、確かな行動につながります。ところが、震災関連死の2割が避難所で起こり、しかも、高齢者に集中していて、その対策が求められています。さらに、要支援者への対応、コロナ禍における避難所づくり等、新たな問題に直面しています。そこで、「レスキューストックヤード」常務理事の浦野愛氏にアドバイスをいただき、協議を始めました。地域の関係者40名ほどが集まり、方針や運営方法を協議し、共有していきます。まずは、避難所としての施設を紹介します。

### 【避難所としての高浜小学校・地域交流施設の施設】

全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>高浜小学校を含む地域交流施設は、比較的、施設にゆとりがあり、平時だと600人くらい、コロナ禍だと200人くらい、避難者が入ることができる。</li> <li>メインアリーナ、サブアリーナ、児童センター、集会室、和室、学校側の特別教室等、多様な施設があり、健常者、要支援者、病人・感染症患者、けが人を分けることができる。</li> </ul>
①②	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館舞台裏に大きな扉があり、駐車場側から大量の物資を運び入れることができる。</li> <li>シャワー室がある。器具庫を使って、男女別に着替えや洗濯物干しができる。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>要支援者の方々が入る。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>広いプロムナードで受付をし、避難者の状況に応じて、入る場所を指示する。</li> <li>大型検温装置サーモグラフィを2台置き、出入りするすべての人の体温を、毎回、瞬時に検知し、記録していく。</li> </ul>
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症あるいはその疑いのある方、その支援をする家族を収容する。</li> </ul>
⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所運営会議室、治療室、医療従事者・ボランティアの待機場所、大人の談話室、児童・生徒の学習室等を用意できる。</li> <li>家庭科室で、避難所生活者のための炊き出しができる。</li> <li>歩行の困難な人は、エレベーターを使って階上に行ける。</li> <li>教室・職員室・校長室は、避難所として使用しない。（早期の授業再開の支障にならないようにするため）</li> <li>衛生管理が難しく、調理員以外立ち入ることのできない給食室は使用しない。</li> </ul>
屋外	<ul style="list-style-type: none"> <li>210台収容の駐車場と運動場が多用途に利用できる。</li> <li>ペットはゲージに入れ、屋外器具庫に収容する。</li> </ul>

※ 以上はあくまで、会議の提案であり、状況に応じて、より良い方策を講じていくことになります。

※ 高浜小学校・地域交流施設は、災害にも対応して造られています。その一部を紹介します。

- 大型発電機と太陽光発電で、避難所で必要な電力を最低72時間分得ることができる。
- 断水しても受水槽にある水は利用できる。停電していなければ、雨水をトイレの水に使える。
- 施設内トイレはすべて洋式になっている。
- 下水マンホールが駐車場通路に5か所あり、簡易トイレ（洋式）を設置できる。

（文責 中川健二）